

# ハレバレモンスターSTORY

## 第1章

### 第13話 またね

少しでもあの街を感じたくて甲板に出る。  
みんながいたあの街を、みんなと過ごしたあの時間を。  
少しずつ少しずつ街が小さくなっていく。

ど————ん

昨日と同じような音が響く。  
驚いて音のした方を見ると波止場で誰かが手を振っている。

『—————！！』

何かを必死で叫んでる？だめだ聞こえない。  
いや、そうか。ありがとう。届いたよ。みんなの言葉。  
だから僕も大きく手を振りかえす。  
昼の空に一瞬だけ浮かび上がった言葉を僕もみんなに向けて叫ぶよ。

ま た ね